

先進国資産配分コントロールファンド<安定型> 愛称：コア安定
先進国資産配分コントロールファンド<成長型> 愛称：コア成長

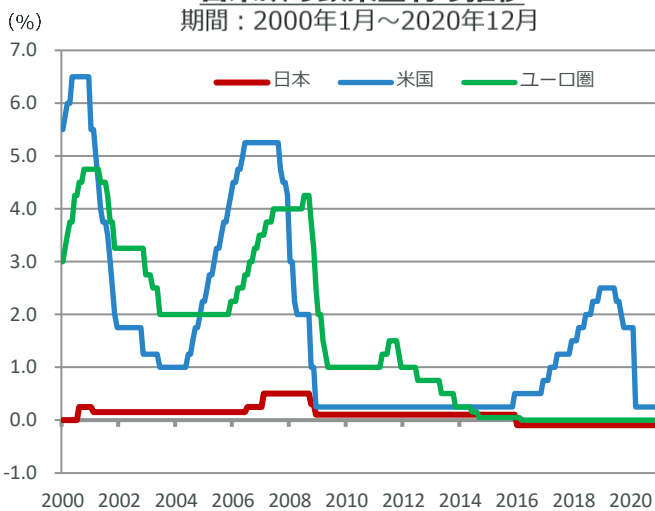
2020年に日米欧の中央銀行は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、世界景気の減速懸念が高まったことから、大規模な金融緩和を行いました。そこで今回は、2020年の日米欧の金融政策についてご紹介します。

金融政策① 政策金利の引き下げ

FRB（米連邦準備制度理事会）は、2020年3月に2度の緊急利下げを実施し、政策金利を合計1.5%引き下げ実質上のゼロ金利政策を復活させました。

日米欧の政策金利の推移

期間：2000年1月～2020年12月



日米欧の10年国債利回りの推移

期間：2000年1月～2020年12月



※2020年12月30日時点 出所：bloombergのデータを基に中銀アセットマネジメント作成

金融政策② 量的緩和政策

日米欧の中央銀行は、量的緩和政策として、大規模な資産買い入れ等を決定し、市場に大量の資金供給を行いました。

日米欧中央銀行の資産と世界株価の推移

期間：2000年1月～2020年12月



※2020年12月30日時点 出所：bloombergのデータを基に中銀アセットマネジメント作成

■当資料は、投資者のみなさまに当社ファンドへのご理解を高めたいことを目的として、中銀アセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に掲載しているグラフ、データ等は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■当資料に示す意見等は作成日現在のものであり、将来の市場環境の変動または運用成果を示唆あるいは保証するものではなく、将来予告なしに変更する場合があります。■当社は当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。

ファンドのリスクについて

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「物価変動リスク」等があります。当ファンドは、実質的に国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。したがって、**投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではありません。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者のみなさまに帰属します。**

ファンドの費用について

- 購入時手数料 / 上限2.2%（税抜2.0%）
 - 信託財産留保額 / 上限0.4%
 - 運用管理費用（信託報酬） / 最大年率1.936%程度（税抜1.76%程度）
 - その他費用・手数料 / 監査費用、有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から支払われます。
- ・ 手数料等については、当社が運用する投資信託のうち、当資料作成日現在で徴収するそれぞれの手数料等における最高または最大の料率を記載しております。

投資者のみなさまにご負担いただく費用の合計額については、保有期間や運用状況などによって異なりますので表示することができません。ファンドに係る費用・税金の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

● その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。当ファンドは、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。また、販売会社が登録金融機関の場合、証券会社とは異なり、投資者保護基金に加入していません。

本資料は投資信託説明書（交付目論見書）ではありません。お申込みの際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。